(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年 6月 30日

福岡市長 髙島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡市博多区上牟田2丁目11番24号 氏 名 大和ハウス工業株式会社 九州支社 支社長 民谷 秀人 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 092-411-7446

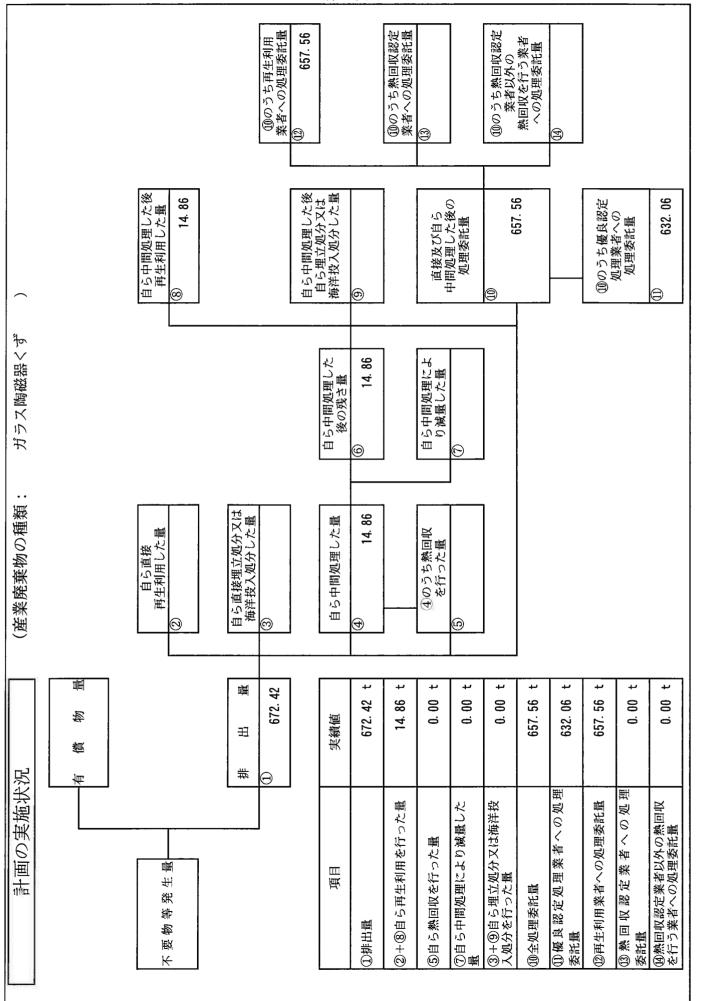
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、**令和4年度**の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。

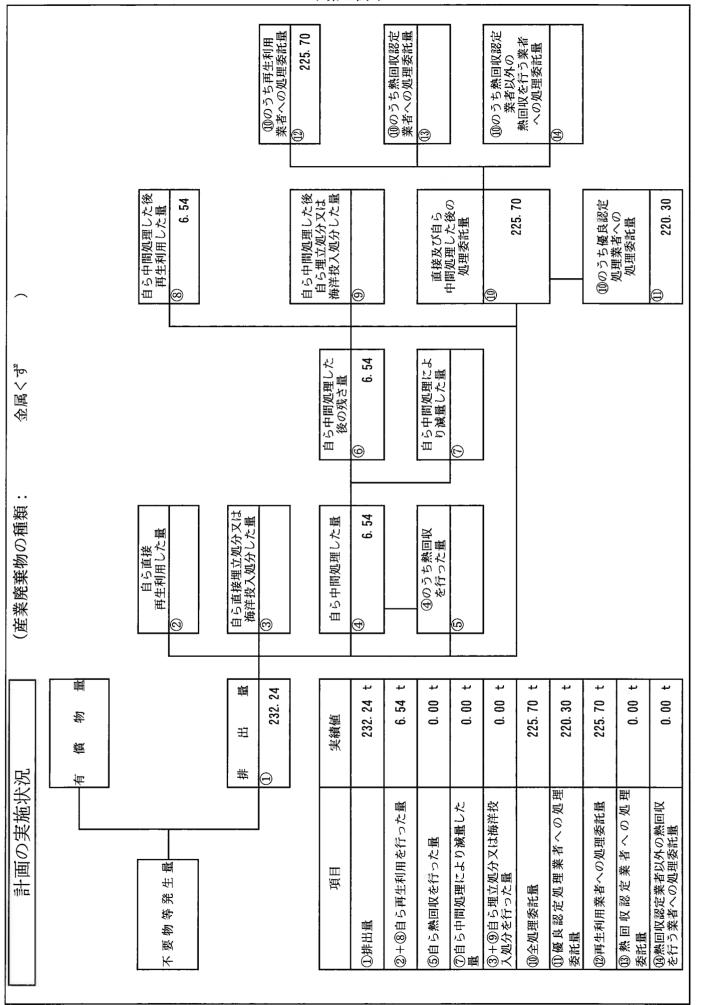
事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 九州支社
事業場の所在地	福岡市内事業場
事業の種類	建設業・総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和4年4月1日~令和5年3月31日

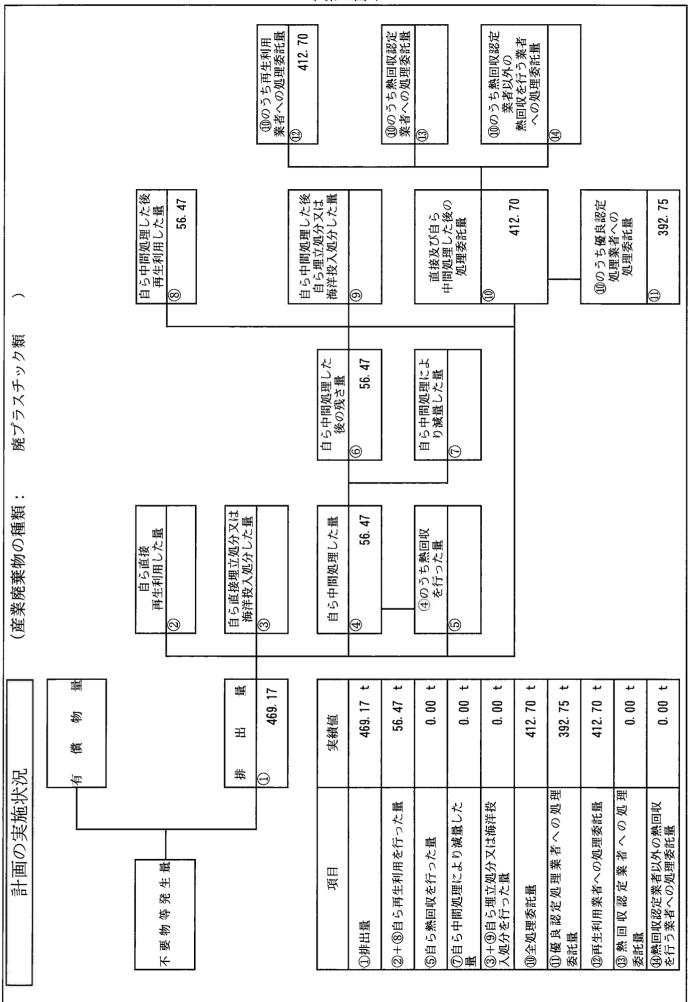
産業廃棄物処理計画における目標値

	項目		目標値	項目	目標値
排	出	量	9, 721. 126 t	全 処 理 委 託 量	9, 132. 64 t
	再生利用を 廃 棄 物 (138. 482 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	4, 518. 00 t
	熱回収を 廃棄物(t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	4, 614. 64 t
	間処理によりる る 廃 <u>棄物</u> (t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
自ら 海洋打		又は 行う	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	310.00 t
	 理欄				

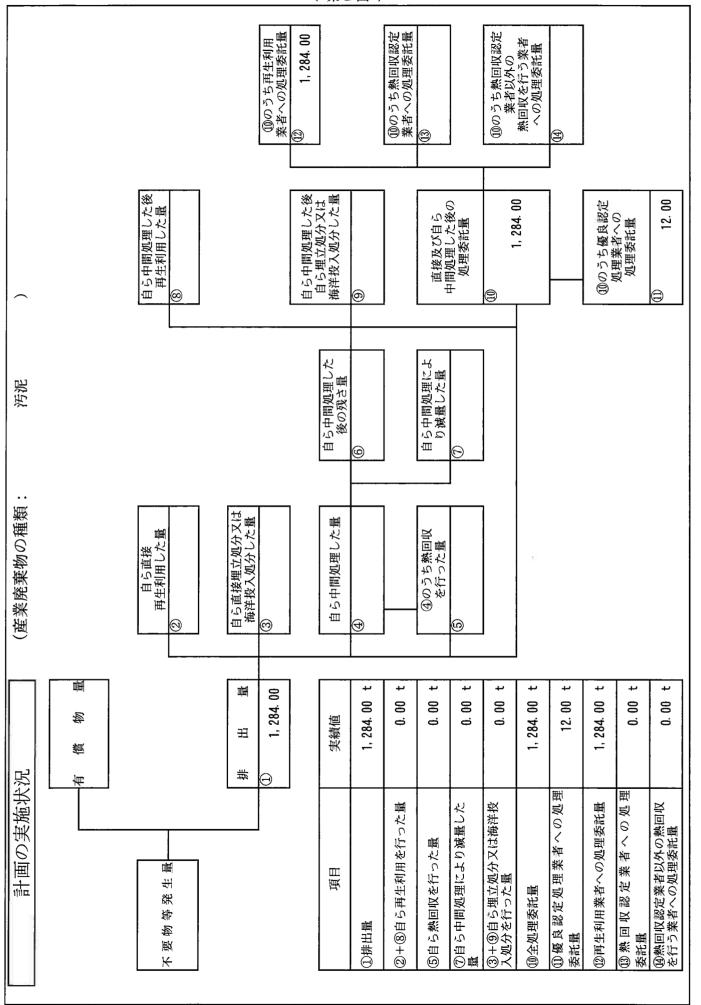
(日本工業規格 A列4番)

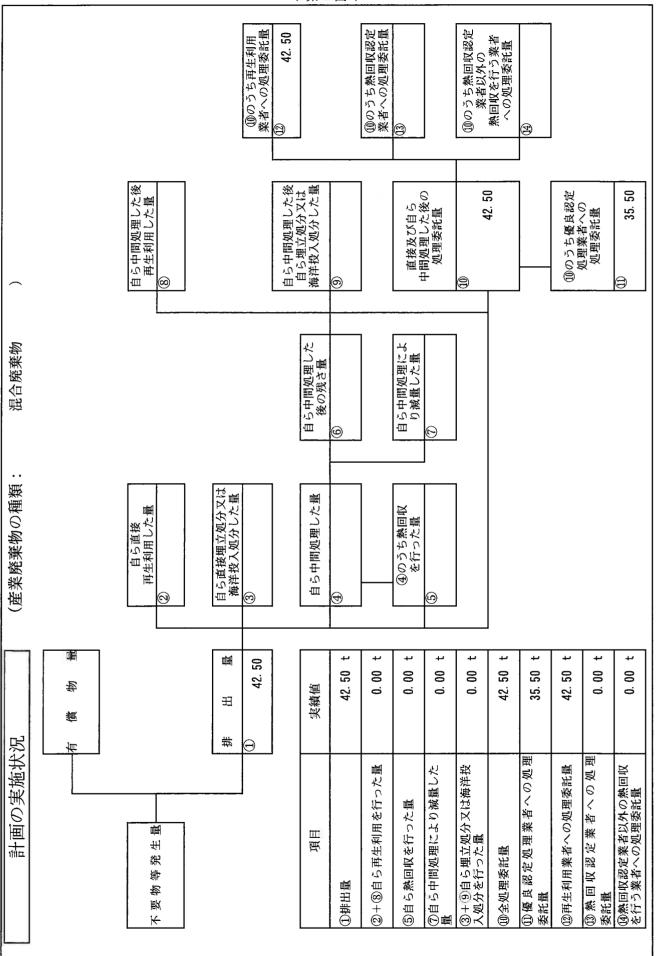




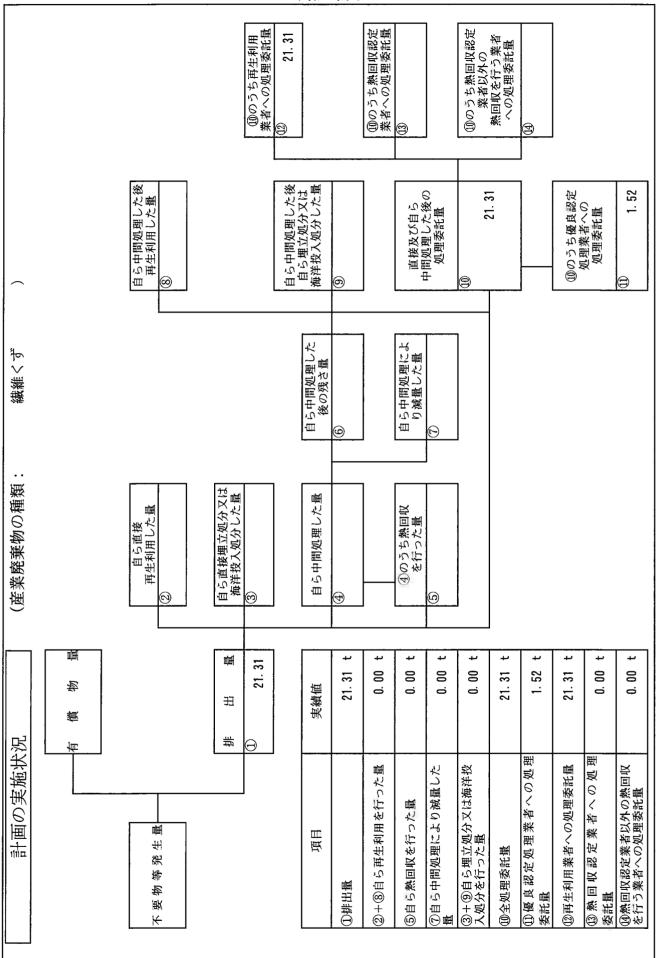


Confidential





Confidential



Confidential

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載 した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1) の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4) の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4) の量から(6) の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6) の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10) の量のうち、優良認定処理業者 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者) への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ③欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記 入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 30日

福岡市長 髙島 宗一郎 殿

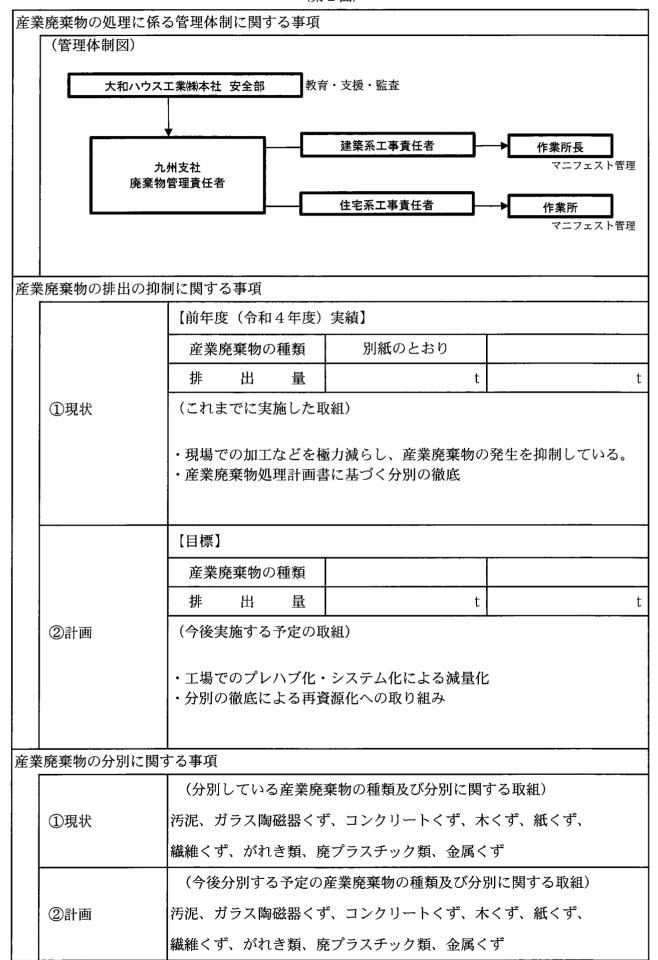
提出者

住 所 福岡市博多区上牟田2丁目11番24号 氏 名 大和ハウス工業株式会社 九州支社 支社長 民谷 秀人 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0092-411-7446

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 九州支社
事業場の所在地	福岡市内事業場
計画期間	令和5年4月1日~令和6年3月31日
当該事業場において現に行	っている事業に関する事項
①事業の種類	建設業・総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 45, 593百万円
③従 業 員 数	総数 584人、正社員数 569人
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	工事現場 中間処理 (委託) 再生資材 (委託) 埋立処分 (委託)

(日本工業規格 A列4番)



自身	う行う産業廃棄物の	の再生利用に関する事項		
		【前年度(令和4年度)実統	責】	
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t ,	t
		(これまでに実施した取組)		
		・特になし		
		【目標】		-
		産業廃棄物の種類		
	②計画	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
!		・排出量の分別の精度アップ	J.	
自ら	行う産業廃棄物の	D中間処理に関する事項 T		
		【前年度(令和4年度)実統	責】	
		産業廃棄物の種類	-	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	 ①現状 	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取組)		
		・住宅系新築工事における]	[場デポ化(余剰材の再生	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
		・住宅系新築工事における]	[場デポの更なる徹底	

(第4面)

自ら	行う産業廃棄物の場	型立処分又は海洋投入処分	}に関する事項 	
		【前年度(令和4年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
:	①現状	自ら埋立処分 zは 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した) ・特になし	取組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
	②計画	自ら埋立処分 ヌは 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定のI・特になし	取組)	
産業	廃棄物の処理の委託	Eに関する事項		
	NO NO POLICIO SA	【前年度(令和4年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
:		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
	①現状	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
		(これまでに実施したI・産業廃棄物を委託でき	取組) ・る業者と書面にて契約を	行っている。

(第5面)

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	②計画	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の ・可能な限り優良認定処	取組) 1理業者、再生利用業者、	熱回収業者へ
		委託処理する。		
		・委託業者には徹底的に	2現地確認をする。	
		・電子マニフェスト対応	ぶ可能な処理業者から認定	する。
※事	務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のと おり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の 種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入 すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、 「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙
(第2面~第5面)
産業廃棄物処理計画書(

産業廃事	産業廃棄物処理計画書(第2面~第5面)別紙	紙									単位	#:トン (t)
			8		斑	業廃	独	の種類				
①現状	[前年度(令和4年度)実績]	がれきご	陶磁器・クリー・ガラス・	金属く	廃プラ!	廃石膏。	形泥	型合む)混合廃:	紙くず	繊維へ	大くず	中田井
国40	[目標]	#	〜〜 ∨ዀ・ ∠∨ዀ ∨ዀ	 	スチッ	#- n		, 無を (j o		<口 aha
			グ及びコン		ク類	_		(海里				
産業廃棄	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						1813		The same of		Contract to the	
①現状 排出量	排出量	3638.62	672. 42	232. 24	469. 17	877.24	1284	42.5	175. 58	21. 31	587. 54	8000.620
(2)計画	排出量	3456.69	638.80	220.63	445. 71	833. 38	1219. 80	40.38	166.80	20. 24	558. 16	7600. 589
自ら行う	ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			The same of	Section of the second	Archive and an archive and archive archive and archive archive and archive						
①現状	①現状 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		14.86	6.54	56. 47	37.39			0. 42		48. 75	164. 430
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		14. 12	6.21	53.65	35. 52			0.40		46.31	156. 209
自ら行う	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			111111111111111111111111111111111111111			A Language	Manager St.				
一個米	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量											
74.7C	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量											
単位の	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量											
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量											
自ら行う	産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関	する事項	Section 18			100000		The second	SCHOOL STATE	TOTAL SWITTER	Company of the Company	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量											
2計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量											
産業廃棄	産業廃棄物の処理の委託に関する事項										Mary Committee of the C	
	全処理委託量	3638. 62	657.56	225. 7	412. 7	839.85	1284	42. 5	175. 16	21.31	538. 79	7836. 190
	優良認定処理業者への処理委託量	2785. 1	632.06		392. 75	821.05	12	35. 5	148. 32	1.52	479. 1	5527. 700
①現状	再生利用業者への処理委託量	3638.62	657.56	225. 7	412. 7	839.85	1284	42.5	175. 16	21.31	538. 79	7836. 190
	認定熱回収業者への処理委託量									-		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 への処理委託量											
	全処理委託量	3456.69	623.94	214.09	389. 24	795.99	1219.80	40.38	166.38	20. 24	509. 41	7436. 159
	優良認定処理業者への処理委託量	2500	009	200	300	200	20	30	100	10	400	4890.000
2計画	再生利用業者への処理委託量	3456.69	623.94	214.09	389. 24	795.99	1219.80	40.38	166.38	20. 24	509. 41	7436. 159
	認定熱回収業者への処理委託量											
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 への処理多託量											
		000		3	Commontal							